

# 寒川町総合計画策定

## 町民ワークショップ

### 意見・提言集

平成22年2月

# 目 次 -

町民ワークショップの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1  
(意見提言集作成の目的、役割、提言集の構成等)

意見・提言集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

1 都市基盤

2 環境

3 安心安全

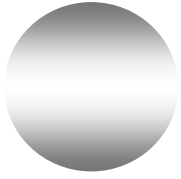
4 教育文化

5 産業

資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

開催経緯

メンバー一覧(名簿)



# 町民ワークショップの概要

---

## 開催の背景・位置づけ

地方自治体を取り巻く社会・経済情勢は、地球環境問題や世界同時不況というマクロな問題から、足元では地域住民の生活ニーズの多様化や環境の変化が進んでいます。

こうした情勢を踏まえて、町の行政運営にあたっては、行財政運営の一層の効率化を進めるのはもちろんのこと、行政のみでは解決できない課題も多く、特に町民や地域、団体などとの「協働」といった新たな取組も一層進める必要があります。

そのような中、町民参加のまちづくりのための仕組み作り、ルール作りとして、寒川町自治基本条例が平成18年12月に制定され、その推進が強く望まれています。

以上の視点から、今回、まちづくりの指針となる総合計画策定にあたり、策定段階から、町民の皆さんの声を反映させるための組織として町民ワークショップを位置付け、参加者の「生の声」としてそのままとりまとめ、計画検討の基礎資料といたします。

## ワークショップの内容

このワークショップの取り組み内容は以下のとおりです。

- ・オリエンテーション
- ・まちの状況やこれまでのとりくみ内容を確認します



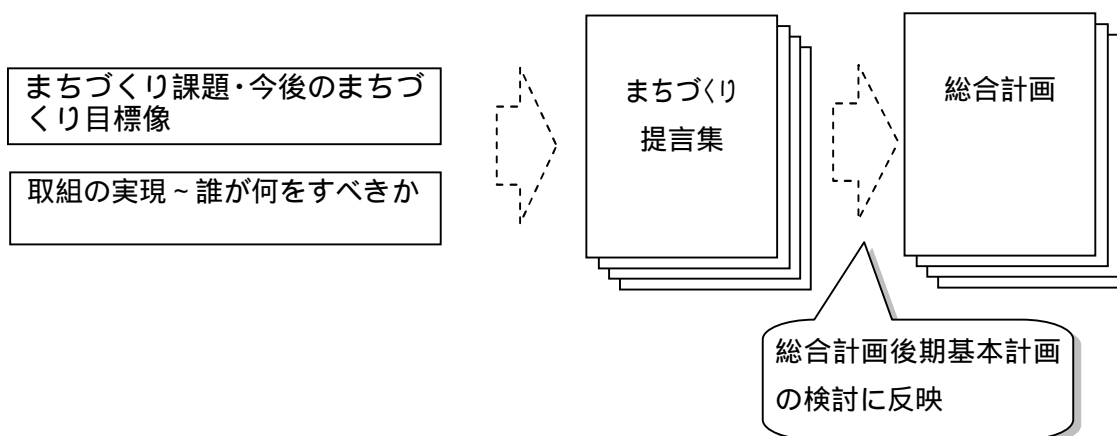
検討1 まちの課題と今後の目標を考える



検討2 目標を実現する取組や役割分担(町民・事業者・行政など)の提案

**総合計画検討の基礎資料となる「意見・提言集」を作成しました。**

話し合いの成果は、分野別の「提言集」としてとりまとめました。「提言」の内容は、町が策定する総合計画の基礎資料とします。

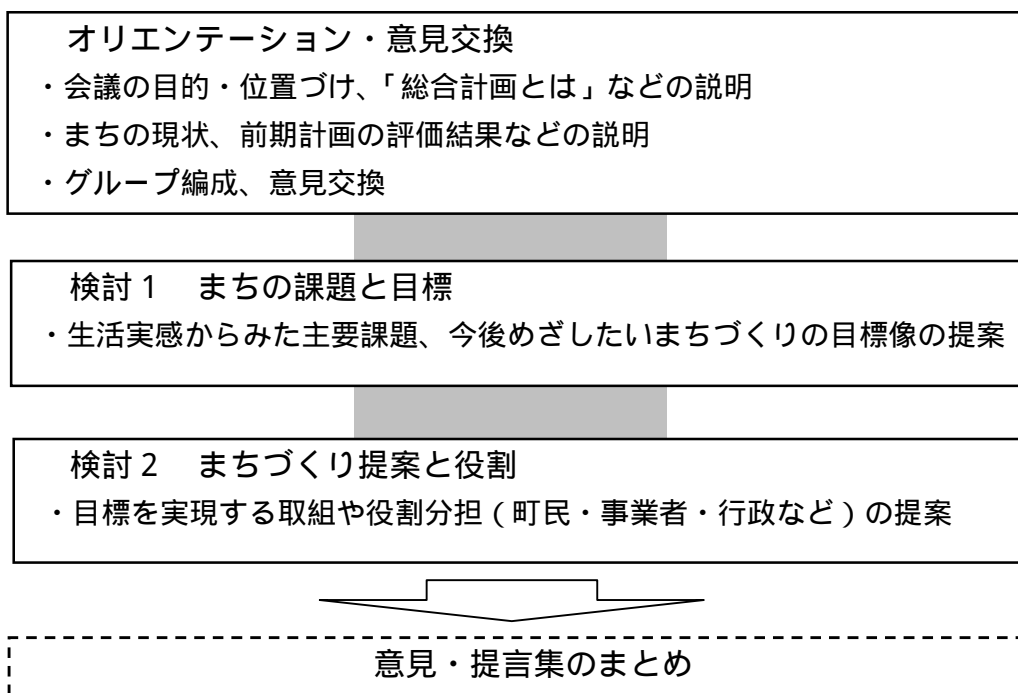


## 運営方法

意見交換や検討を行いやすいよう、基本的にグループ分けをして行いました。グループは、総合計画の分野をもとに、5グループを編成しました。

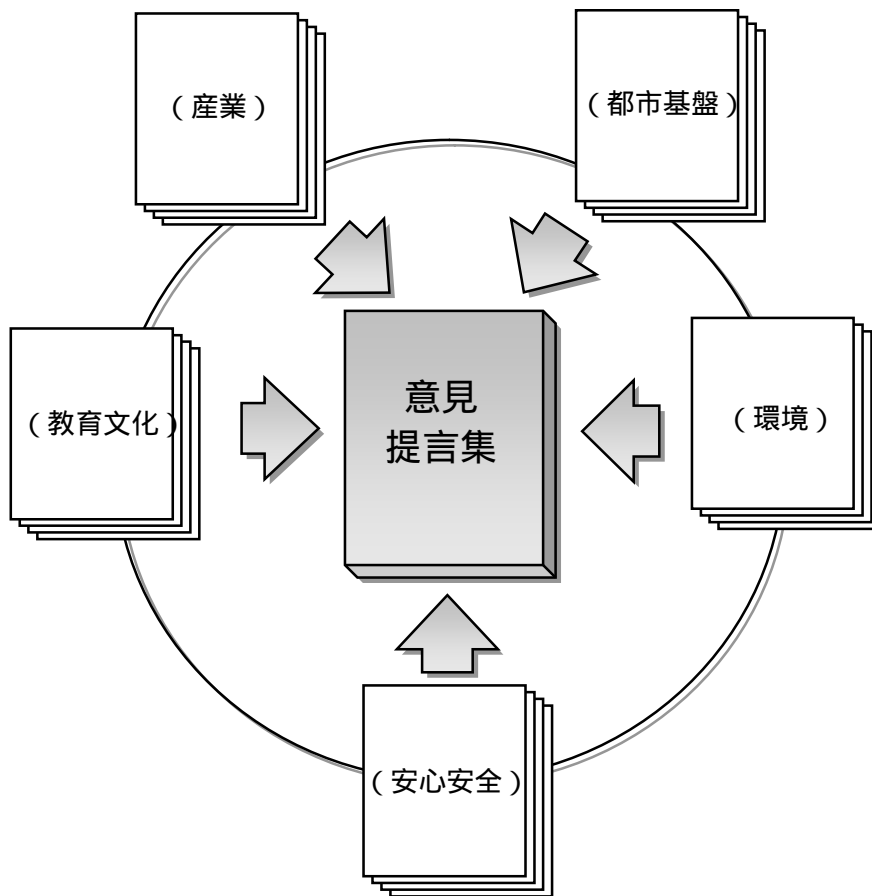
分野	主な内容
都市基盤	交通環境、生活環境、市街地整備
環境	緑化、環境にやさしいまちづくり
安心安全	健康、福祉、防犯、防災
教育文化	生涯学習、学校教育、地域文化
産業	商・工・農業、勤労者対策、観光

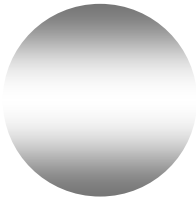
## プログラム



## 意見・提言集の構成

意見・提言集は、5分野に分かれて検討した内容で構成されています。





# 意見・提言集

---

## 意見・提言集の取り扱いについて

- ・意見・提言集の内容に入る前に、今回の町民ワークショップの開催を通じた参加者の全体的な意見として、町がこの提言集を活用し、今後計画の策定を進めていくにあたり、次の点に留意して活用するようお願いする。

計画策定にあたり、自治基本条例を重視し、各分野において協働によるまちづくりが前提であること。

この提言集は、参加者全ての提言をそのまま取りまとめたものであるが、計画策定には財政推計をもとに確実に施策推進できるよう留意すること。

この提言集の内容を、今後町が策定する計画の今後の方向性に十分に取り入れていくこと。

計画の実行の手法として、町民参加型会議の充実や、町民メンバーの参画による実行委員会などの組織化も検討し、「町民主体」のまちづくりを行うこと。



# 意見・提言集の内容について

分野 各分野の名称を示します

## (1) 生活実感からみた主要取組の評価

・現在の計画内容の検証結果(概要)をもとに、「良いと思う、評価できること」、「改善が必要と思うこと」、「その他」という項目に分けて意見交換し、その結果をまとめました。

## (2) 寒川町の について提案！ 取組の提案

必要な取組	取組の担い手		
	町民・地域は	寒川町は	その他(事業者、団体等)
.....	.....	..... ..... ..... .....	.....
.....		.....	

今後のまちづくりを進めるにあたっての取組を提案しています。

提案した取組の役割分担を考えました。  
町民：町民が出来る・行う・協力する取組  
事業者・団体等：民間企業やNPOなどの団体としての取組  
町：寒川町が取組むこと・各主体の活動のための支援など





## まちづくりの目標像（キーワードなど）

- ・ 当該分野に関する将来目標としたいキーワード
  - ・ キーワードの背景となる具体的な意見
  - ・ 今後の寒川町に必要と思うこと
- ・・・などなどを提案しています。

# 1. 都市基盤分野

## (1) 生活実感からみた主要取組の評価

### 1. 都市基盤(快適でにぎわいのあるまちづくり)

節	項	施策	良いと思う・評価できること	改善が必要と思うこと	その他ご意見等
1. 連携を考えた交通環境の整備を進めます	1. 交通体系の整備	1. 道路の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道の整備(交通ルールをまもれる道づくり)</li> <li>歩道がとれるような幅員での道路整備が必要では?</li> <li>ちゃんとした歩道がない</li> <li>公共交通へのアクセス(歩道・横断歩道)</li> <li>学校通学路の整備(歩道のない危険道路が目につく)</li> <li>歩道と車道の区分が不足</li> <li>通学路の未整備</li> <li>近未来(10年後)の道路整備計画を明示することが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路に商品が並べられていたり、垣根の生垣が道路に出ている</li> <li>町民のモラル向上</li> </ul>
		2. 公共交通網の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスの運転開始</li> <li>財政的な問題はああるものの、前向きに検討は進めておくべき</li> <li>新駅の立地によるメリットの詳細が不明(アクセス時間など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線新駅導入に本腰を入れる</li> <li>神奈川県全体としてみても新幹線新駅は必要(商圈のあり方としても)</li> <li>できたことによる町への影響、県内全体の役割、ビジョンを示すべき</li> <li>公共交通網整備はJRやバス事業者の経営戦略もある。町としてどうするかを明示することが必要</li> <li>駐輪場の整備、運用の改善</li> <li>町民にとっては自転車の利用が大きい。寒川駅以外は整備されていない</li> <li>東海道線と相模線の連絡を良くする。</li> <li>企業(JR、バス)に対して寒川町がメリットを示していない(人口施策 etc)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミバスのルートは増えたが既存のルートが利用しづらくなった。利便性が悪い。もっと小さいバスで運行すればより利便性の高いものができるのでは?</li> <li>シルバー人材の活用(ドライバーとして)</li> <li>NPOなどの新たな主体の創造</li> <li>町としてコミバスの意義を明確にすることが重要。</li> </ul>
2. 快適な生活環境の整備を進めます	1. 公園・緑地の整備	1. 公園・緑地の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>小さな子供が遊べるような公園</li> <li>公園の遊具の整備(子供が行きたがるのは遊具がある公園、そうすれば周辺の商業も活性化するのは)</li> </ul>	
		2. 下水道・河川の整備	1. 公共下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣市町村にくらべ寒川町は下水道整備が進んでいる(市街地、調整区域を含めて98%以上?)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水処理の量(キャパシティ)が適切なのか? 宅地増に対応できているか?</li> <li>将来の維持管理について町として情報発信が必要(考え方)</li> <li>起伏がある場所では排水に窮している場所がある</li> <li>工業排水等が農地に流れ込んでいる</li> <li>雨水排水の処理を適切に整備していく必要がある</li> <li>施設のメンテナンスを定期的に行うシステムづくりが必要、住民の力も活用する。共同で。</li> </ul>
	2. 河川の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活排水などの流れ込みは減ってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目久尻川護岸整備と併行して観光塩減の開発を行う(桜並木的なもの)</li> <li>目久尻川の護岸等きれいになっていない</li> <li>ボランティアによる目久尻川の清掃は行ってきている。分散清掃に取り組む予定。</li> <li>河川敷の管理が県なので、行政同士で調整して(住民活力を活用して)観光資源として整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民のやる気、思いを行政がサポートして欲しい。</li> </ul>	
3. 生活環境の向上	1. 環境美化の推進			<ul style="list-style-type: none"> <li>企業側が取り組んでいる社会貢献活動との(連携?)</li> <li>ゴミの減量化を住民レベルで推進するべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ分別は本当に必要なのか? やらなくなっている自治体も相当多くなっている。</li> <li>費用対効果の検証が必要ではないか?(トータルで検証)</li> <li>有害物質は出してはいけないので、分別を効率的・効果的にまわす必要がある。</li> </ul>
		2. 良好な住環境の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>住居表示の改善を推進してほしい</li> <li>住居表示と合わせてわかりやすい地区構成に再編も</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会に加入してない家庭も増えている。コミュニティとしてのまとまり(事業者も...影響大きい)</li> <li>町の条例等で加入するように推進できないか?</li> </ul>

1. 都市基盤(快適でにぎわいのあるまちづくり)

節	項	施策	良いと思う・評価できること	改善が必要と思うこと	その他ご意見等
		3. 情報通信基盤の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>町として情報通信網をいかに活用するかを明示する</li> <li>あくまで民間のインフラ。町としてどのように活用するかが重要(行政情報etc)</li> <li>各家庭に広報スピーカーの整備もあれば。(希望者のみでも)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害・防災の(財政も)観点からも、うまい活用が求められる。</li> </ul>
3. 魅力ある市街地の整備を進めます	1. 市街地環境の整備	1. 土地利用の適正化		<ul style="list-style-type: none"> <li>町全体のエリア管理(都市化される部分、田園(文化)を大切に守る部分、快適住環境を守る部分)</li> <li>市街化区域・調整区域の線引き見直しが遅すぎる</li> <li>耕作していない農地が多い</li> <li>市民農園など活用していけば</li> <li>税制等、制度等の見直しにより、管理・活用しやすいように</li> <li>高さ制限等の見直しも含めて新住民を受け入れるキャパを整備</li> </ul>	
		2. 中心市街地の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒川駅北口周辺の区画整理じぎょうが少しずつ進み始めた事。特に岡田交差点～ほりむら薬局交差点まで新たな道が完成した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒川駅北口駅前広場(ロータリーなど)の整備が出来ていない。寒川の玄関を早く完成しなければならない。</li> <li>寒川町の将来的な玄関口はどこ? 寒川駅? 倉見駅?</li> </ul>	
		3. ツインシティ倉見地区の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度より現状調査が行われはじめた事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区住民の盛り上がりがあったと云っていいほど無い事</li> <li>ツインシティの具体的な推進を図る</li> <li>新幹線新駅の実現性をJR東海との接渉する中で把握し、可能性が極めて低いならば、構想を現実的に変更することが必要</li> <li>ツインシティ関連の話が進まない(今からやらないと、寒川はとり残される)</li> </ul>	
		4. さがみ縦貫道路インターチェンジ周辺の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>県内または首都圏50km以内の南ゲートとしての地域性を確立できていないこと</li> <li>相模縦貫道路インターの計画的整備。混雑させない道路にする</li> <li>湘南台方面から縦貫道路への連絡道路が決定されていない。海老名方面に抜ける心配あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターが作成される。このことを企業誘致に</li> </ul>
	その他			<ul style="list-style-type: none"> <li>人口増を図り早期に市制を敷く</li> <li>町は人口政策で市制を敷くのか町のままで行くのかを含めた将来像を提示すべき。湘南市構想がつぶれた後が出てこない</li> <li>町民が行政に対して協力することが必要「協働」、住民ができることは住民で</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規産業(企業)の積極的導入</li> <li>県全体の中での寒川町の役割、あり方が不明確。その上で新駅等があるはず</li> </ul>

# (2)寒川町の「都市基盤」について提案！

## 取組の提案

### 1. 都市基盤

必要な取組	取組の担い手		
	町民・地域	町	その他（事業者・団体等）
「協働」によるまちづくりの推進			
市制移行に向けて ・市制と町制を選択する（町民との意見交換で方針を決定（海老名、藤沢、茅ヶ崎：合併対象）） ・人口誘致 ・企業誘致	・住民総意のコンセンサスづくり	・市制を敷くための条件、メリット、デメリットの整理、公表	
人口施策（土地利用・基盤） ・3年後5万人を目指す ・住みたいまち（特に若者に魅力あるまち） ・高齢化、人口減等を考えた攻めの対策 ・合併できる体質の確立	・コミュニティの充実 ・若い家庭（家族）の誘致 ・世代間交流の促進 ・自治会活動の充実 ・地主も含めてまちづくりに参画していく機運に	・若い人（家族）が住みやすくするためのケア、住機能 ・住宅地の開発 ・宅地整備がしやすいような施策（規制緩和） ・土地の有効活用（調整区域の見直し） ・エリアマネジメントによる土地利用誘導で魅力あるまちづくり ・優遇税制の施行（町民税の有期限優遇策、企業誘致のための有期限優遇策） ・子育てしやすい街づくりのためのインフラ整備（保育園、公園） ・交通網の充実	
情報インフラの整備活用（企業誘致・情報発信） ・NTT、JCOMの空エリア利用 ・ハイテク産業の誘致 ・他の町にないものを寒川の一番に	・集会所などに設置して自ら情報発信を ・防災情報の発信（ブログ）	・ダークファイバーの利活用 ・県・国への働きかけによる補助金の導入 ・町政への参加を促すような仕組みづくり（選挙・まちづくり参画）	・商工会が補助金を出して導入を促進
線引きの見直し（市街化拡大） ・固定資産税の拡大 ・休耕地の有効利用 ・土地の有効利用 ・田端、倉見地区の市街化調整区域の見直し ・用途地域の見直し	・線引き見直しが可能であることを知らない人が多いので勉強会の開催、参画	・寒川神社を一体的に整備できるような線引きの見直し ・拠点整備にあわせて、ふさわしい土地利用、エリア管理 ・線引きに関する説明会の開催を情報公開	・不動産協会などの団体を活用して情報発信
企業誘致の推進 IC整備 ・工業団地と道路整備 ・IC周辺の道路整備（交通渋滞解消） ・さがみ縦貫ICの適正な設置 ・大学の誘致（産学連携含め）	・住民側も情報収集・勉強しながら機運を高める	・町が積極的に営業するべき（県内だけでなく全国レベルで） ・県、国を使って情報発信、世界にも ・進出してくることで得られるメリットを整理した計画づくり ・ベンチャー企業などを積極的に誘致	・工業協会と地元住民との交流（情報交換）
寒川らしさ（魅力づくり） ・他市町にないものを創造 ・観光面の充実（寒川神社の活用）		・外部からの交流人口を町に滞留させる仕組み	・寒川神社を目玉とした一体的な整備（道路・店舗など）

## 1. 都市基盤

必要な取組	取組の担い手		
	町民・地域	町	その他（事業者・団体等）
新駅設置 ツインシティの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民側としても積極的な議論・活動を起こす</li> <li>・チャンスを生かす住民側も危機感を持ってアクションをおこす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政がリーダーシップを発揮する</li> <li>・新駅の設置について県・町もはっきりしたビジョンが無いので具体的な計画へ</li> <li>・新駅設置によるメリットをしっかりと整理する</li> </ul>	
交通アクセス 公共交通 ・相模線の複線化（宮山駅）（県との協働事業） ・相模線と東海道線と小田急の連携 ・他地域 寒川の改善 ・コミュニティバスの最適運用（MPO等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複線化に向けた住民活動の展開、住民の盛り上がり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道複線化に向けた取組（積極的な情報収集、交流）</li> <li>・人口増加に向けた取組の推進</li> <li>・人口条件などでの複線化の可能性をJRに聞く</li> <li>・住民活動が盛り上がるような働きかけ（駅名変更など例：宮山 寒川神社前）</li> <li>・歩道整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOを活用してのコミュニティバスの運行（シルバー人材の活用）</li> <li>・通勤・通学の時間帯の本数増加</li> </ul>
駐輪場整備 ・宮山駅、倉見駅での整備 ・無償化継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪場の確保（無償化、有料化を含めた議論）</li> <li>・コミュニティバスで駅とのアクセスを強化、補完</li> <li>・車で行けるような整備（駐車場etc）</li> </ul>	
公園整備 ・子供の遊び場、公園設備の充実（他地域に負けない公園づくり）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者側でもいろいろ工夫しながら利用する（有効利用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具を含めて公園の充実</li> <li>・公園の活用について、できることを発信していくべき</li> </ul>	
公共施設の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の建て替えの推進</li> </ul>	

# まちづくりの目標像（キーワードなど）

## 【目標像】

キーワード	具体意見
住みやすい・住み続けたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住み続けたい町づくり（自分も子供も）</li> <li>・住みたい町</li> <li>・住みやすいまちづくり</li> </ul>
交通利便性 都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通利便性の高いまちづくり</li> <li>・立地の優位性を活かしたまちづくり、基盤整備</li> <li>・街並み、公園などの整備</li> </ul>
寒川らしい魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちが将来胸を張れるふるさとづくり</li> <li>・日本で一番のまち「さむかわ」づくり</li> <li>・夢のある街</li> <li>・まちのイメージ向上(市制へも含めて)</li> <li>・特色あるまちづくり</li> <li>・活気に満ちたまちづくり</li> <li>・地域の価値を創造</li> <li>・最先端のインフラを持つまちづくり</li> <li>・若年層は多い</li> </ul>
住民力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域構成員である地域住民の人間力の向上</li> </ul>

## 【今後の寒川町に必要と思うこと】

### まちづくりのグランドデザインを

寒川町の将来あるべきグランドデザインを明確に策定する  
 人口を維持・向上させていくための施策展開  
 市制移行のコストなどを把握、メリット・デメリットの整理・検討

### 町制から市制に移行した時の行政の裁量権の拡大

寒川が独自の政策を進められる体制づくり

## 2. 環境分野

### (1) 生活実感からみた主要取組の評価

#### 2. 環境(環境と共生したうるおいのあるまちづくり)

節	項	施策	良いと思う・評価できること	改善が必要と思うこと	その他ご意見等
1. 水とみどりの保全と活用を進めます	1. 緑化の推進	1. 緑の保全と推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>田の保護(自然環境)</li> <li>田の環境学習の場としての活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森や林が少ない為、人工的にでもよいから林などをつくる</li> <li>駅西口の資成堂の前に当る所、木を植える為の「植樹祭」がありながら、何も植えていない。緑の町にするはずではないか？神社、大門の所の線路沿いの空地も木を植え、有効利用して欲しい(図る)</li> <li>倉見「永池川」旧河川敷を利用して魚付樹木林を作り、かつては「倉見の堤」は有名であったものを復活させてはどうか？「倉見の堤復活大作戦」とでもネーミングして</li> <li>寒川の街路樹が少なく緑が不足</li> <li>植樹の折の選ぶ樹々のセンスと植える間隔等、桜等はすぐに大きくなる。3、5年もすると間引かなくてはならなくなる</li> <li>道路沿いの植木の整備が悪く草がボーボー</li> <li>10年程前になりますか？その頃できたマスタープランには南参道、北参道を作るとか寒川病院北側「わいわい」川辺の田んぼ等は緑化すると言うことであったが、議論はしたが今回のプランに反映されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地、特に田んぼを減少させないための取組み 農家との交流の場 田んぼ会議の開催 田んぼの雑草取り&amp;田んぼの生き物観察会(環境学習の一環) 環境保全型農業を勧め、また振興策として寒川町環境ブランド米をつくり町民の消費を高める</li> </ul>
		2. 水辺空間の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>川辺の整備 水辺の環境を配慮した工法による目久尻川の改修については、ほぼ良好と言える。ただし、下流部から河口近くにかけては今ひとつ「水とふれあえる川辺」とは言い難い(端午橋から下流まで)治水の問題もあるのであまり無理もできないが</li> <li>目久尻川の美化活動は5年目なるがまだ一部の者の活動</li> <li>目久尻川・小出川はとても景観が良いので、よりそれを高めていく</li> <li>小出川の拡幅工事においては護岸は自然工法を用いたものになっており、またゆるい傾斜のついたものであり評価できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目久尻川の改修が終わっていません。のこり部分を早く行って下さい</li> <li>目久尻川と小出川の交差部</li> <li>生活雑排水など汚水の河川への流入を防止して欲しい</li> <li>直接河川(小出、目久尻、永池、相模川へ入る汚水)</li> <li>新堀、大塚、一之宮、大曲幹線の雨水排水路へ流入する汚水 これらは間接的に各河川へ流入してしまう為</li> <li>小出川の「来恩寺」(茅ヶ崎部分)付近はすごく蛇行して川幅がせまくなぜこの部分だけが手付かずとなっています上流、下流を拡げてもこの所が改善されなければ効果なし。事業の優先順位が大切。全体的に調査し工事順位を決める</li> <li>小出川の水がきたない川底にゴミが散乱</li> <li>小出川は工事中的こともあるが殆ど着手されていない</li> <li>小出川の沿岸の草刈が出来ず夏は危険</li> <li>「水とみどりの町」といいながら目久尻川は汚い小出川は大変汚いという評価が一般的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境課、教育委員会が連携して学校教育の一環として、休耕田等を利用したピオトープ等を作っては？(例:寒小ピオトープ、旭小ピオトープ、南小、一小、) リーダーが必要</li> <li>休耕田の調整水田化(ピオトープ田のようなもの)休耕田に水を入れて生き物に配慮した調整水田として管理するように農家に推奨する(米川 用排水路 田んぼの淡水魚の進入路も調査していく(町民&amp;環境課)</li> <li>外来生物対策 罰則の徹底した強化(例:1億円以下の罰金など) 外来生物についての学習の強化、駆除</li> <li>小出川には南米原産のホテイアオイや北米産のアナカリスが繁殖、ミシシッピーアカミカメの繁殖が目立つ</li> <li>農業用排水路の環境に配慮した整備 用排水路は改修時に昔ながらの土水路もしくは自然環境を配慮した工法を用いたものにする 農家の負担を軽減する措置として助成金を町が支出する</li> </ul>
2. 環境にやさしいまちづくりを進めます	1. 環境共生の推進	1. 環境施策の総合的推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習(情報発信)</li> <li>できるところからは始める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境への町民意識向上(アイドリングウトップ)</li> <li>町内だけでなく他都市とも連携して行う優先度</li> <li>環境基本計画の実施状況を毎年手間でかけてまとめているが進捗の跡がない</li> <li>環境基本計画特に重点プロジェクトの実現が重要</li> <li>環境対策の成果・結果はすぐに出ないがそれでも取組む推進力</li> <li>企業(工場)とのネットワーク(協力体制)</li> <li>公園愛護会、河川敷愛護会等を作る(小出川愛護会、目久尻川愛護会等々一つ一つの公園や河川に皆の参加も得られるし維持費も安価である)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画は「先見の明」が必要10年20年先を見据えて道路等考える</li> <li>時間が長かかったが駅前開発等により周りの環境がよくなった</li> <li>小出川、目久尻川沿いの土地において田畑が耕作放棄されたのち宅地などに転用されないように寒川町で買い上げる 河川敷周辺を含めた水辺環境の保護(金)として行う</li> </ul>

2. 環境(環境と共生したうるおいのあるまちづくり)

節	項	施策	良いと思う・評価できること	改善が必要と思うこと	その他ご意見等
		2. 地球環境の保全		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への関心、意識を高めるための施策が不十分</li> <li>・町全域の環境への取り組み(町の設備に限らず)</li> <li>・「けやきの森」近辺の目久尻川河川工事以前に計画されていた工事が未完成のまま残っている。県議員さんに県に働きかけていただき完成させて欲しい。景観よくない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒川町の政策として中心部の建物の色、様式等の統一性が無くゴーストタウン的</li> <li>・寒川町にはこれといった「お土産」がない 田んぼを歩いていてもイナゴ、タニシ等がない。何か(公害)が影響しているのか イナゴやタニシ、虫の飛び交う様な環境にしたい</li> </ul>
		3. 公害の防止		<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場排水他都市との連携</li> <li>・梨を作っています枝を燃やすことができないので良い考えは無いか</li> <li>・寒川神社前ごみ放棄(美観運動にも関連)</li> </ul>	
	2. 資源の有効活用の推進	1. リサイクル活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックの分別は本当に必要だろうか</li> </ul>	
		2. エネルギー対策の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー対策の第1は消費量を減らすこと、第2に使うならクリーンエネルギーを</li> </ul>	
	3. 廃棄物の適正処理	1. ごみの収集処理対策の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋に落ち葉が散乱し道路が汚い</li> <li>・ゴミ処理に金がかかりすぎ、ゴミが減っていない</li> <li>・越の山の保護林にゴミが散乱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場から出るいろいろな物質は定期的に工場の様子を把握し又立ち入り検査等、町の環境課がしっかりと行ってもらいたい(資料3に調査、監視の強化とあるが)</li> </ul>
		2. し尿の収集処理対策の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金がなくて水洗化しない家なのか、道路が私道で町が手を入れることが出来ないのか又立地条件が坂で下水道工事が出来ずポンプで汲み取りをせねばならないのか、理由を調査し解決策を考える</li> </ul>	
	その他			<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年広場の街灯が暗く、夜、危険</li> </ul>	



# (2)寒川町の「環境」について提案！

## 取組の提案

### 2. 環境

必要な取組	取組の担い手		
	町民・地域	町	その他(事業者・団体等)
ゴミ問題、ごみの削減、資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ごみの減量</li> <li>・意識向上</li> <li>・資源の有効なリサイクル化への取組(町民の意識レベルの向上化)</li> <li>・正しい分別</li> <li>・正しいごみ処理</li> <li>・資源の有効活用(リサイクルが一番ではなくリデュース、リユースがあって次がリサイクル)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理の問題 町民と協力しながら減少させる(処理費用の削減)</li> <li>・ごみ処理の効率化</li> <li>・ごみ処理の抜本的見直し(特にプラ分別の見直し)</li> <li>・広報の仕方に工夫を!</li> <li>・情報を提供する、説明をする</li> <li>・予算に見合った処理(予算半減、収集回数減らす)</li> <li>・強力な住民指導</li> <li>・ごみを減らすための教育、啓発</li> <li>・戦略</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみの削減</li> <li>・環境にあった事業の実施</li> </ul>
水がきれいで沿岸が美しい川づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草等の刈込は住民が実施する</li> <li>・ゴミ、放散等の防止運動看板の取付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神社大門前の整備</li> <li>・工事時環境調査、生物調査、今の生態系に配慮 生態系を含めた環境保全</li> <li>・目久尻川 小出川 永池川の遊歩道の整備</li> <li>・目久尻川は相模川に合流する河川敷の空き地を整備して林をつくる</li> <li>・小出川は今ある堤防を整備し駅前より直接つながる遊歩道をつくる</li> <li>・永池川 倉見の「堤」の復活</li> <li>・橋の設置(対側に渡れる簡単なものでも)</li> <li>・川の中の清掃、草刈は実施する</li> <li>・住民、事業者への働きかけ(河川管理)</li> <li>・国、県への働きかけ</li> <li>・自治体間の連携、市、県との連携ネットワークづくりと実行計画</li> <li>・草地の保護(ススキ、オギ、ヨシの群落を守る、目久尻川河口)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者、企業は内側だけでなく周辺の美化運動を実施</li> <li>・事業者、企業は住民の美化運動に参加(休日でも)</li> <li>・事業者、企業は汚水の浄化垂れ流しを止める</li> </ul>
緑をつくる ・遊休地の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の近所だけでなく場所を拡大した整備運動を実施</li> <li>・意識向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木を守っても樹木が生えている土地が減っている緑地(林、森)を守る施策が必要</li> <li>・市有地の荒地の管理</li> <li>・今ある資源(土地)の有効活用</li> <li>・遊休地のごみ雑草等が除去されたまちづくり</li> <li>・こしの山の樹林保全(農地も)</li> <li>・樹林地確保重視</li> <li>・住民管理への支援充実</li> <li>・アドプト制度 町民の力を入れた管理など</li> <li>・緑に関する情報提供</li> <li>・整備計画の立案、住民、県国への説明、実行(例えば植樹など)</li> <li>・歩道の整備</li> <li>・道路の沿線に緑があり整備されたまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者、企業はその地域の整備に人、資金を提供する</li> </ul>

## 2. 環境

必要な取組	取組の担い手		
	町民・地域	町	その他（事業者・団体等）
農地	・農地保全への協力(雑草とりなど)	・寒川病院 わいわい市西側の休耕田の緑化 ・農地(特に水田)の保全、保護を行う ・町民と農家との交流の場づくり(問題等の把握)(農政とも連携) 田んぼ会議(農業体験、生態系調査 雑草取り ごみ投棄防止など) ・休耕田の保水調整、休耕田としての呼びかけ	
エネルギー対策(省エネが一番 クリーンエネルギー活用は二番目)	・意識の向上(アイドリingsトップなど) ・やれることからとくむ	・情報提供、説明(CO2達成量の根拠など) ・教育 ・宣伝(ホームページの活用など) ・充実した省エネ対策(住民へのアピール)	・省エネルギー対策への協力
CO2の削減			
公害対策 ・身近な公害(悪臭、騒音、etc)		・公害防止、公害をなくすための規制(行政の強いリーダーシップ)	・公害対策
外来生物対策	・知識向上とそれに合った行動	・特定外来種の指定(規制を強める)、国へ要望する ・駆除実行と住民に対する知識の向上を図る	
実行性のある施策の推進	・意識向上 ・日時を決めて活動していく、町民へのお知らせ ・町と町民のネットワーク、実行部隊をつくる	・町の職員が“環境”の目で見ると(エキスパート、長期的な視点) ・町がリード(戦略を持って)リーダーを育てる ・教育(環境教育の徹底した実施) ・町民参加の会議、(仮)実行委員会を各部門に設置(ごみ問題、河川環境、生物保護、樹林保護、農地保護、CO2削減、エネルギー対策) ・町民の協力を得ながら戦略をつくり実行する ・町はその気になればすべてを見ることができる	

# まちづくりの目標像（キーワードなど）

## 【目標像】

本来の環境を知り守り育てていくまちづくり

キーワード	具体意見
水と緑	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 水と緑の豊かな町</li><li>・ 富士と丹沢をのぞむ町</li><li>・ 豊かな田園の町</li><li>・ 川、街、広場、林等体系化した環境対策</li></ul>
協働	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 住民参加する環境作り</li><li>・ みんなで作る町づくり 住民参加</li><li>・ 役場の担当部署が環境保全計画を策定し、住民と共に確実に実行する体制をつくる</li><li>・ 協働で作るきれいな町</li><li>・ 役場、企業、住民が連携し、創り出す環境保全</li></ul>

### 3. 安心安全分野

## (1) 生活実感からみた主要取組の評価

### 3. 安心安全(安心で生きがいのあるまちづくり)

節	項	施策	良いと思う・評価できること	改善が必要と思うこと	その他ご意見等	
1. 明るく生きがいのある健康づくりを進めます	1. 健康づくりの推進	1. 健康づくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に密着した福利厚生が大事では</li> <li>・心の健康づくり</li> <li>・色々なセミナーなど案内しても参加がほとんどない(意識があがっていないのでは)</li> <li>・寒川健康体操の推進</li> <li>・日常的なウォーキング習慣がつかような支援(機会があるか?)</li> <li>・総合体育館トレーニングルームは60歳以上は無料化</li> <li>・社協内及び総合体育館に毎日健康管理チェックシステムを導入すべき</li> <li>・ふれあい健康まつりの場合的中止</li> </ul>	・地域活動による住民参加型健康づくりの推進というけれど知らなかった	
		2. 健康づくりの支援		・高齢者健診制度の充実		
	2. 保健・医療の充実	1. 地域保健の充実	・母子保健事業の乳児健康調査の受診率向上はすごいと思う			
		2. 地域医療の充実				
	3. 社会保障制度の推進	1. 国民健康保険制度の推進			<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒川町の保険料は県下でも高い方だと聞いたが安くなる方法を考えていきたい</li> <li>・国保保険料の収納率の向上と診療報酬点検の強化</li> </ul>	
			2. 老人保健制度の推進			
		3. 介護保険制度の推進		・介護予防事業の参加が少ないとの事であるがもっと魅力ある事業をやって欲しい		
		4. 国民年金制度の推進		・国民年金制度の大切さを小学校の頃から教えたい。必ず払うように。		
	2. 心のかよいあう福祉を充実します	1. 地域福祉の充実	1. 地域福祉活動の充実	・寒川駅南口駅のエレベーター設置は評価できると思う		・健康福祉総合センターは本当にできるのか
		2. 高齢者福祉の充実	1. 高齢者対策の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護は女性という意識を改善すべき</li> <li>・現実には自宅生活を確保と言うが介護した者にとっては施設入所の方向へいきたい</li> <li>・社協・高齢介護など高齢福祉(民生委員)それぞれが同じような作業をしている中でわかりやすい業者のスリム化を</li> <li>・高齢者包括支援センターは寒川では少ない 目立たないけれどももっとあった方がいい</li> </ul>	
		3. 児童福祉の充実	1. 子育て環境の充実			・子育てを人に頼る傾向があるのではないか
		4. 障害福祉の充実	1. 障害福祉の充実			・在宅福祉対策の充実の成果は?
3. 安心して暮せるまちづくりを充実します	1. 防災対策の充実	1. 防災対策の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町総合防災訓練について形骸化しているのではないか</li> <li>・個人の防災対策が必要(役場でもっと啓発して欲しい)</li> <li>・防災組織の統一化(例 防災交通課での窓口 消防での窓口、発令と実施部隊)</li> <li>・災害時における介護支援者の避難場所を明確に</li> <li>・防災における自治会の役割の明確化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震の事前対策(水対策、排水(下水対策)、緊急仮設トイレ等の確保)は充分なのか</li> <li>・地震に対する意識をどうあげているか</li> </ul>	

3. 安心安全(安心で生きがいのあるまちづくり)

節	項	施策	良いと思う・評価できること	改善が必要と思うこと	その他ご意見等
	2. 消防・救急体制の充実	1. 消防体制の充実		・消防職員の増員 ・防災連絡網の拡充(地域・自治会)	
		2. 救急救助体制の充実			
	3. 交通安全・防犯対策の充実	1. 交通安全対策の充実		・カーブミラーの設置に優先順位があり後まわしになることがある	
		2. 防犯対策の充実	・防犯灯のメンテナンスは迅速に対応していただいている	・防犯灯を青色にすると精神的に落ち着いて犯罪が減ると言われている ・防犯グッズ(ブザー)が配付されているというが個人的に活用されているとは思えない(運用の不徹底)	
	4. 地域活動の推進	1. 地域コミュニティの充実		・地域参加への教育の必要性	・自治会活動における望ましい組織のあり方、リーダーシップの発揮、会員(住民)のモチベーション意識のアップ
		2. ボランティア活動の促進		・要介護、要支援者、弱者への支援活動(組織化、ツール、要員)策の立ち遅れ ・ボランティアをしたいと思っている人は多いのに、どうしていいかわからない。ボランティア募集などわかりやすく広報に出して欲しい	
		3. 消費生活の向上			
	5. 共に支え合う地域社会の実現	1. 男女共同参画社会の実現			・男女共同参画の意識が本当に上がっているのか疑問
		2. 平和で平等な社会の実現		・理想はわかるが遠大すぎて具体策とのギャップがありすぎる	
	その他				

# (2)寒川町の「安心安全」について提案！

## 取組の提案

### 3. 安心安全

必要な取組	取組の担い手		
	町民・地域	町	その他（事業者・団体等）
<b>健康づくり</b> ・色々なセミナーへの参加 充実 ・月1回（日曜）中央公園で楽しく体操する ・ラジオ体操、ウォーキング、その他一定期間ごとに皆さんで参加、互いに健康確認・支援を行う ・健康に関する町民意識の啓発活動	・健康管理の第一は自己管理、自己責任（町民全員） ・町主催の行事等への積極的参加	・健康づくりの場所、機会の提供 ・指導者の育成 ・健康都市宣言の実行、アピール ・防災無線使用によるラジオ体操の放送など	・冠行事の開催による町民参加意識の向上を図る（例 キリン主催 健康まつり）
<b>社会保障</b> ・社会保障制度に対する町民の意識の向上と教育 ・国民年金制度の大切さを広く教育する ・健康保険料を下げるような取組検討 ・老後を年金で安心して住めるまちでありたい ・生活保護受給者と年金生活者のアンバランス改善（生活保護の方が恵まれる場合）		・生活保護と年金生活者アンバランスの制度運用の改善（調査の厳格化）、強化 ・国も運用を見直す	
<b>防犯</b> ・一人住まいの（高齢者）防犯を地域や町で見守り ・自治会の防犯体制の確立	・見守り隊（小谷自治会）、おやじの会（ナカゼ地区）などの充実 ・サロンや敬老会などへの参加促進（見守り隊への充実） ・活動支援への要望実行 ・ボランティアにばかり頼らないような意識の啓発	・自主防犯組織に対する助成	・事業所防犯連絡（協議）会と自治会との連携
<b>バリアフリー</b> ・安心して歩けるまち ・歩道のマンホールの蓋の改善 ・歩道の整備 ・介護しやすい家づくり		・バリアフリーまちづくり（スロープ設置など）への補助 ・バリアフリー住宅への補助 ・公衆トイレの設置充実（高齢者が安心して外へ出られる環境づくり）	
<b>医療</b> ・医療機関への適正な利用（コンビ受診の解消など） （・自宅で死を迎えられる環境作り（希望））	・家族の協力	・救急でない場合の利用の罰則化 ・救急車の有料化検討など	福祉、子育て等々の地域支援の協力体制をつくるために必要
<b>地域活動</b> ・顔の見える地域密着の自治会活動（自治会役職者、問題は地域、現場にあり）	・自治会への意識を高める（自治会はいい制度だと思わない）	・自治会の役割明確化（してほしい） ・自治会にお願いしっぱなしにしない ・自治会はじめ組織への協力に対するお願いの強化 ・新しい転入者に対する自治会への誘導（アピール）が必要では ・町民課や住民課の連携	

### 3. 安心安全

必要な取組	取組の担い手		
	町民・地域	町	その他（事業者・団体等）
<b>防災</b> ・総合防災決定、防災指針決定（町民参加型で）、防災マニュアル決定（町民参加型で） ・防災体制の整備	・計画づくりの要望 ・自治会の防犯体制確立 ・地域活動の取組 ・サロンや敬老会などへの参加を促す	・防災指針のマニュアル等の作成 ・専門職員の育成 ・防犯体制（づくり）への支援（支援の必要な地域の見極め）	・サロンや敬老会などへの要望（要請）
<b>高齢者福祉</b> ・町の（空き）施設などの有効活用による老人ホームの充実 ・包括支援センターの充実（社教の取組）	・運用に対する監視	・学校施設の再利用検討（バリアフリー化） ・生活条件の厳しい高齢者に対する支援 ・町民以外の施設入所制限設定（10年以上在住者に限る等） ・窓口組織の一本化（体制の再編）	
<b>男女共同参画</b> ・共同参画のための男女の役割分担、支援の充実	・男女のバリアフリーの意識付け ・男女共同参画プランの内容をもっと知るべき	・街づくり推進会議の進め方の検証、見直し ・男女共同参画プランの周知	・男女共同参画のための協力として企業も働き方に対する理解が必要
<b>その他</b> ・託児所が少ないので充実を（若い人の定住対策としても） ・町内3つの駅前に交番が必要			


# まちづくりの目標像（キーワードなど）

## 【目標像】

キーワード	具体意見
笑顔・楽	<ul style="list-style-type: none"><li>・笑顔あふれるまちづくり</li><li>・お互いに差異をみとめ合うまちづくり</li><li>・高齢者が楽しく生活できるまちづくり</li></ul> スポーツ各種 施設の利用 その他団体行事ができるように
ささえあう	<ul style="list-style-type: none"><li>・皆で作る</li><li>・共にささえあう</li><li>・ささえあえるまちづくり</li></ul>
暮らして安心・住んで安全	
環境変化に対応した安心安全	

## 【今後の寒川町に必要と思うこと】

 緑豊かに

 町の活力バランスを考える

 寒川らしさを重視

住みよい  
人がよい  
環境



## 4 . 教育文化

### (1) 生活実感からみた主要取組の評価

#### 4. 教育文化(豊かな心と文化をはぐくむまちづくり)

節	項	施策	良いと思う・評価できること	改善が必要と思うこと	その他ご意見等
1. ふれあいのある生涯学習を充実します	1. 生涯学習の推進	1. 生涯学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人の生涯学習については活発に意見が出されている</li> <li>・生涯学習、公民館活動に対する行政の援助がなされている</li> <li>・公民館を拠点とした地域「生涯学習推進員会議」の積極的な日常活動は評価に値する</li> <li>・年間17万人の利用者を数える4公民館の活動は人口比からも評価できる</li> <li>・寒川図書館の利用者が増え続けている(平日午後7時まで)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯活動推進会議の充実</li> <li>・生涯学習への高齢者参加充実の工夫を考える(より高齢層が増加する中でのお年寄りの生きがいのため)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに「生涯学習活動推進町民会議」の設置</li> <li>・運営を町民主体にする</li> <li>・場合によっては新しい体制(組織、システム)を考える</li> <li>・公民館の利用団体が固定化されているので新規団体が加入しやすい環境づくりが必要</li> <li>・生涯学習拠点施設の安全性の定期点検と保全対策を講じる</li> <li>・公民館利用時間帯の延長 祝日を休館日にしないで欲しい</li> <li>・地域文化の主旨から公民館の運営を全て地域へ任せ活性化を図ることが必要</li> </ul>
	2. スポーツ・レクリエーション活動の推進	1. スポーツ・レクリエーション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当町の行政規模に照らして、現在の整備状況の評価する</li> <li>・現在田端地区に野球場他の施設を建設中で町の取組姿勢を評価する</li> <li>・「ふれあい・スポーツ・健康まつり」の総合企画性が評価できる(経費をかけず町民主体も評価)</li> <li>・関係協会への補助金の交付のあり方要検討(…活動推進町民会議への交付の方が活きる)</li> <li>・特に現役世代への情報提供を充実するため、「町広報紙」、「ホームページ」で恒常的に周知する</li> <li>・サークル活動支援体制の充実(指導員の募集etc)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設利用の受益者負担について具体的に考えていきたい</li> <li>・推進体制の主体(運営も)を「町」から「町民」へ移す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに「スポーツ・レクリエーション活動推進町民会議」の設置</li> </ul>
2. 豊かな心をはぐくむ教育を進めます	1. 家庭教育・学校教育の推進	1. 家庭教育の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域での「親子・子供と大人」の関係を密にするため、子供会の復活を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育がオープンになれるような機会を多く作る</li> <li>・定期的な「教師と町民との交流会」の開催(PTA以外に)</li> <li>・家庭教育、子育てについて、いかに働きかけ支援を図っていくかを考えていきたい</li> <li>・子供会がなくなった</li> </ul>
		2. 学校教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の関係で少人数クラスがH21年度から導入</li> <li>・小中学校の少人数クラスを推進</li> <li>・小学校・中学校授業の公開、住民が父兄と一緒に見学できるのがよい</li> <li>・「知・徳・体」のバランスがとれた教育の推進を図られていた。今後も充実して欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野(音楽、芸術)での指導力不足</li> <li>・小学校の英語教育にボランティアグループの活用</li> <li>・学校教育への地域住民の参加の方策を作り、様々な教育活動の支援を行う(人材、物資等)</li> <li>・マンパワーで活用できる体制、文化、システムづくり</li> <li>・花壇等の手入れが大変 夏場 緑のカーテン</li> <li>・学校に関する費用不足(ガラス代、水道管)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の「匠」の教室内での体験学習</li> <li>・学校給食が直営であれば委託を目標し経費を他で効果的に活用すべき</li> <li>・学社融合対策の充実</li> </ul>
	2. 青少年の育成	1. 青少年活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供育成会ではなく中学生以上の子供達を育成する青年達で構成された組織の形成が必要</li> <li>・様々な分野に興味・関心がある幼児・児童・生徒の活動の受け皿の創出と住民参加の指導者作りとその運営を図る</li> <li>・青少年活動の内容(各々の取り組み)を整理し再構成して担う中身を明確にする(ふれあい塾のみか、ゆうゆう学園等)</li> <li>・青少年のモラル向上策として自治体での新企画を構想、実施を考えたい(日本のよさ、寒川のよさ等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の「一日青少年開放デー」の設定</li> <li>・学校保育が充実してきた(平日午後6時頃まで)</li> </ul>	

#### 4. 教育文化(豊かな心と文化をはぐくむまちづくり)

節	項	施策	良いと思う・評価できること	改善が必要と思うこと	その他ご意見等
3. 地域の文化活動を進めます	1. 地域文化の振興	1. 文化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アーカイブスの整備充実は後世のために大変意義がある</li> <li>・総合図書館は町の文化向上に多大なる貢献をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内文化団体への財政支援</li> <li>・図書館を小さい子供でも行きやすく(コミュニティバスなどで)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅ヶ崎文化会館でも良い音楽に触れることができる</li> </ul>
	2. 地域間交流の推進	1. 地域間交流の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒河江市との交流の成果を住民に見える形にする</li> </ul>	
その他				<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化交流の充実(支援体制)</li> <li>・外国人居住者向けサービスの充実</li> </ul>	

## (2)寒川町の「教育・文化」について提案！

### 取組の提案

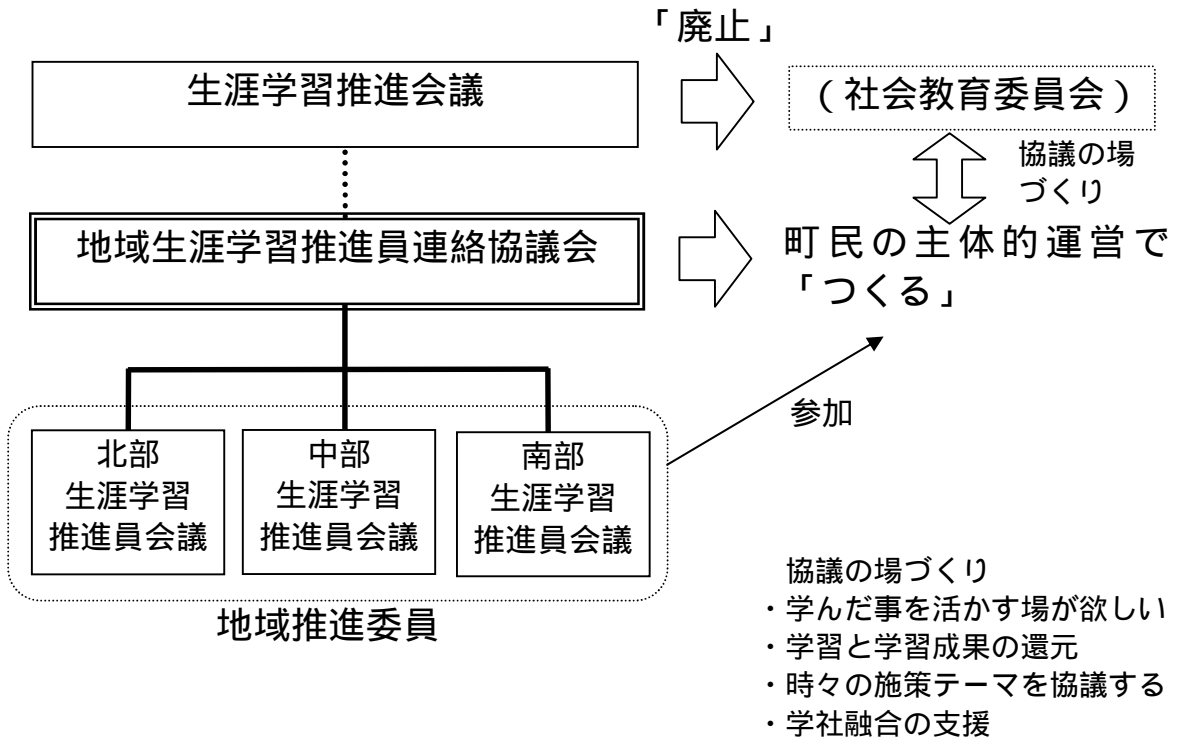
#### 4.教育文化

必要な取組	取組の担い手		
	町民・地域	町	その他(事業者・団体等)
生涯学習 ・活動の充実のための具体的な取組(各論)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習活動の充実(年齢層、施設費用、指導層)</li> <li>生涯学習で学んだことを地域に反映できる環境づくり(観光案内役になるなど)</li> <li>自治会、各委員会でも生涯学習を啓蒙し、広い年齢層に浸透</li> <li>個人の思い 組織的にとり組み老人会などで受皿があるといい</li> <li>サポーター(ボランティア)の採用、受皿も必要</li> <li>すばらしい取組 自治会長連絡協議会などでアピール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報活動の活発化による参加の促進</li> <li>広報誌の情報がうまく伝わらないので公民館や学校に置く</li> <li>施設を拡充するため適切な予算措置(配分)をとる</li> <li>英語教育の一環として町で採用しているALTに各公民館での生涯学習活動の国際化に向けた取組補佐をしてもらうよう企画立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業、事業者等の寄付はお祭りなどにはあるが、渉外活動にもなされるようなシステムづくり</li> </ul>
体制づくり(別紙) ・町全体の「推進町民会議」を組織化(学びプランP39の体制見直し) ・寒川町と住民による構想計画委員会をたちあげ、具体的な手順を策定する その後運営委員会を作り実行を図る ・現行の事業内容や推進母体等を整理、重複や未実施事業を精査 ・各世代や多様な分野(重点分野)がカバーできる全体図を作成 ・町民が企画・運営に携わっていけるシステムの構築、実行(構想作成 システム化運営)		<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局への支援</li> <li>町の各種取組の広報(広報誌以外の工夫)</li> <li>学校ボランティア 実現できるための仕組み(受け皿)(ボランティアだけでやれない部分の支援(交通費だけでも見るなど))</li> </ul>	
教育 ・児童が図書館を利用しやすいように ・若いうちから芸術に接することができる町づくり(文化を育てる) ・学校を軸とした地域、人のつながり ・地域の人による学校への安全な見送りと構内環境の整備 ・健全育成のための子供たちの学習 ・「知・徳・体」のバランスがとれた子どもの育成(外遊び、安全の確保) ・地域の伝統行事を通じての子供の健全育成 ・オープンな家庭教育への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域のかかわりを持つ</li> <li>学校の先生(教諭)と町民(保護者以外)とで意見交換の場づくり</li> <li>子供会(子供同士のつながり)</li> <li>自治会、町会を通じたボランティア参加募集</li> <li>教師のサポート役として参加 無償でできる仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園の整備(安全な公園、見通しの良い公園 本気に遊べる公園づくり イギリスなどの例を参考に)</li> <li>時間、空間、仲間を揃えられる(放課後)場所(横浜市の例)</li> <li>活動のアピールできる場 資格(特別な)が無くてもどんな活動できるように</li> <li>講習を受けた後ステップアップしていけるための仕組みづくり</li> </ul>	(学校) ・校庭の庭いじり ・校内の見回り ・公開授業やっているが、ほとんど来ない(授業参観程度) ・学校と地域の関わりを持たせるための仕組みづくり ・給食を通じての地産地消(食育)農家と学校の間がかり
文化 ・公民館まつりなどで発表の時間・場を設ける ・講師育成(育てるシステムづくり) 行政からの支援 ・茅ヶ崎文化会館に行きやすくする(バスなどで)	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民の芸術家の力をいただき、芸術性を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民センターの稼働率向上</li> <li>各種芸術関係団体を招聘する企画づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術家を呼ぶためのスポンサーになってもらい、賛助会員等に積極的に取組んでもらう</li> <li>町内会にもスポンサーに積極的に参観する町の文化づくり</li> </ul>
世代間交流			

#### 4. 教育文化

必要な取組	取組の担い手		
	町民・地域	町	その他（事業者・団体等）
スポーツ・レクリエーション ・参加意識の高揚を図る施策の推進			

#### 生涯学習の推進体制づくり(提案)



# まちづくりの目標像（キーワードなど）

## 【目標像】

- ・人に喜ばれる未来づくり
- ・芸術・文化の育つ町づくりを！
- ・みんなの知恵で創造する地域文化

キーワード(区分)	具体意見
生涯教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒川町 いきいき住民 住民立案 運営の生涯学習のかたち</li> <li>・生涯学習 町民に知らせる活動を活発化し参加を促進する</li> <li>・町民主体で生きがいのある生涯学習</li> <li>・老いも若きも生き生き学習</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校教育に生かせる生涯学習</li> <li>・学社融合で強まる地域の「きずな」</li> <li>・豊かな心を育む教育を</li> <li>・「どんな大人になってほしいか・・・」を考えた教育文化を！</li> <li>・教育関係 自らの立場の自覚と実践</li> <li>・老いて育てる若者教育</li> </ul>
世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意わざの集合の街 お年寄りパワーの結集</li> <li>・お年寄りの生きがい創出</li> <li>・お年寄りは年金が給料 ボランティアづくり</li> <li>・若者に返す老人パワー</li> </ul>
町民連携・主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒川こころのルネッサンス 住民の連帯・連携を</li> <li>・町民主体ではぐくむ町文化</li> <li>・住民のマンパワーを活かす</li> <li>・できる人ができないところから実行</li> </ul>
スポーツ・レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ・レクリエーション参加意識の高揚を図る施策の推進</li> </ul>

## (まちづくり目標に係る考え方の補足)

教育の役割は文化の伝達にあります

- ・文化を内面化するための働きかけが教育 ( education )
- ・内面化されるものが文化 ( culture )
  
- ・将来、文化や教育の良き理解者・協力者、またはアマチュアとして文化を愛好し、楽しむことのできる人間の育成を目指すことが大切
- ・文化を内面化することによって教育された人間は、それによって次代の良き後継者となるとともに、文化の伝達や創造に貢献することになる

### 貢献のしかた

一般教育を受けると	よき理解者や協力者として、アマチュアとして
専門教育を受けると	専門家あるいは職業人として

児童生徒が文化を取り込むと…

- ・鑑賞や表現の能力を身につけ、情操の全面的発達の可能性を実現する



文化に触れる機会を与える  
(小学校でも)専門家の指導を受けられるような教育支援が必要(音楽・美術の講師など)

**予算の確保**

生涯教育で文化を取り込んだ大人は…

- ・社会において貢献することで生きがいにつながり、本当の意味で生涯学習になる



貢献できる場をつくる

**組織・体系づくり**

## 【今後の寒川町に必要と思うこと】



町民に生きがいを

学び直しの生涯学習

学びの受信・発信双方向のしくみづくり



高齢化に対応するコミュニティのかたち

経験豊かな人々の知恵の活用

ネットワークづくりの新発想を

## 5. 産業分野

### (1) 生活実感からみた主要取組の評価

#### 5. 産業(魅力ある産業と活力のあるまちづくり)

節	項	施策	良いと思う・評価できること	改善が必要と思うこと	その他ご意見等
1. まちの特性を生かしたふるさと創造を図ります	1. 商業の振興	1. 商業の活性化の推進	・寒川駅前のみちづくり公社はやめてよかったのでは	・寒川駅前の開発長期化 ・事業費の増大、移転も予算の制約で少しずつしか進められない ・駅周辺プロジェクトはゼネコンにまかせるべき(早く進む) ・後継者がいない ・寒川神社を活かしていない ・商業者自身の取組みと支援 ・振興策を受益者が作るうとしない(他人、行政任せ) ・商工会への加入率が60%弱と低い ・商工会の力が弱い自力本願とすべし	・寒川駅前の事業について十分な町民への説明が必要 ・町民は商業利用が不便 ・プロジェクトを始めるとき責任者を決めよ
	2. 工業の振興	1. 工業の振興	・物流企業の引き合いが来ている	・中小企業がきびしい オンリーワンを育てる ・工業誘致はこれから無駄になると思う 工場による税収少ない?	・町の入札で地元会社がとれない(地元企業育成) 事業転換(福祉など)の努力をすべし
	3. 農業の振興	1. 都市型農業の推進	・ワイワイ市への助成 ・ワイワイ市に出した一千万は戻すべし	・農振の審議会が2年も停滞している(無活力だ) ・ブランド農産物が少なくなった ・「花」や「なし」など生産する品種が減っている 花は町民に人気がある ・土地の値上がりだけ狙っている地権者が多い ・小さな農業などへの補助金が多い 整理が必要 ・都市農業としての振興ビジョン、方向の明確化が必要 ・具体的な農業振興策がとられていない ・民間参入など取組んでいく必要 ・農業者自身の努力も必要	・補助金が既得権になっているのではないかと もっと広く使えないか ・食糧自給率を寒川でアップする政策は無駄だ ・昔に学ぶ必要(かつていろいろ品種を工夫していた)
	4. 勤労者対策の充実	1. 就労環境の充実			・福祉など生活環境の充実との連携必要
	5. 観光の振興	1. 観光対策の推進	・観光協会の会長を公募したのは良かった ・B級グルメに取組もうとしている(内容はこれから) ・小出川・目久尻川の彼岸花の植栽は成功したらしい(3万人きた)	・相模川の河川敷の利用者は多いので活用できないか ・アユのつかみどりで町が栄えるのか レジャー禁止等 ・寒川神社が活かされていない ・寒川神社にきた人を寒川駅にまで呼び込む必要 ・寒河江市(姉妹都市)の観光みこしに負けている(公民の取組が弱い)	
その他				・新しい取組み必要 ・古いもの、あるものをいかすことが大事 ・コミュニティバスとの連携必要 ・富士山など山の眺めをいかした取組み必要 眺望レストラン(体育館のレストランはため)	(まとめの項目で掲載) 全体的に自助努力が必要 納税者を増やす必要 行政の効率化必要

## (2)寒川町の「産業」について提案！

### 取組の提案

#### 5. 産業

必要な取組	取組の担い手		
	町民・地域	町	その他(事業者・団体等)
<p>(前提)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町民と行政の協働</li> <li>情報公開が十分ではない(条例はあるが十分機能していない)</li> <li>住民の意見が十分反映されていない</li> <li>事務処理がしっかりしていない(町長名間違えている)</li> <li>これまでの行政は住民意見の理解が不足</li> <li>県などの行政の縦割で物事が決まっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民が主体的に参加する</li> <li>行政に頼り過ぎない</li> <li>民生委員などに住民自ら積極的に取組む</li> <li>町民が検証する(評価できるもの)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報公開を企画段階から町民と共有</li> <li>施策・事業の住民負担をあきらかにする</li> <li>町民債の発行</li> <li>町に真に必要な施策の立案・実行</li> <li>事務事業評価を住民がチェックするシステムづくり</li> <li>情報公開の徹底(やらない、できないこともきちんと公開)</li> <li>国・県からの身の丈にあわない施策にとりこんでしまっている、住民に十分諮らないでやっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会の十分なチェック</li> <li>議会が住民意見を反映できるようにしていくべき(今は十分でない)</li> </ul>
<p>(農業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花卉などの都市農業としての振興</li> <li>地産地消のみで振興は無理</li> <li>町だけで食料自給率を考えていくのは無理</li> <li>養鶏、豚、牛農家が多かったが住宅地化の中で減少してきた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイワイ市など町民と農家の交流促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発する農地と保全する農地の適切な区分(農用地見直し)</li> <li>農家にとっても住宅地の問題が防げるようにする</li> <li>駅周辺及び町役場の周辺の農地は開発</li> <li>町民の農業に対するニーズを確認して基盤整備事業や施策を考えるべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やる気のある人、やり方次第でビジネスとして成立するのではないが</li> <li>農家同士のネットワークの強化(ただし競争も大切)</li> <li>寒川町のブランド農産物づくり</li> <li>都市近郊で成立する高付加価値の生産必要</li> </ul>
<p>(商業)人口依存強い 購買力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寒川神社と連携した商業振興</li> <li>神社と町・住民の協力関係が不十分</li> <li>(寒川神社の神主は50人以上、全国的にも40人以上は5社しかない)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>県の水道局跡地利用の促進</li> <li>神社、住民、商業者、町の協力体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒川神社周辺の石碑は交通上は移動すべき</li> <li>商工会で作成した「門前町」構想の実現を目指す</li> <li>商業者の努力必要 農用地の解除がからむのでその対応、住民にもPRして協力体制をつくっていく</li> <li>B1グルメづくりにとくむ</li> </ul>
<p>(工業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内の企業の維持・育成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>町内で生産する工業製品のPRを考える</li> <li>工場は財政に寄与 地元町民にもPRする</li> <li>地元企業に適切に出す工夫(分離発注、ただしコスト削減必要)</li> <li>建設業など町内発注のあり方を考えていくべき 事業者の努力やコストの削減、適正な競争の上で</li> <li>町内企業の助成の検討</li> <li>適切なコストの確保した上で地元企業に発注(企業努力前提) 情報公開必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業製品でも寒川ブランドづくりが考えられないか</li> <li>JVなど地元企業の協力体制づくり</li> </ul>



## 5. 産業

必要な取組	取組の担い手		
	町民・地域	町	その他（事業者・団体等）
<p>産業振興のベースとして寒川の魅力アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「寒川」のイメージアップ</li> <li>・人口を増やす 若い人を増やす</li> <li>・防犯上は他都市よりか必ずしもよくない（重大犯は少なく軽犯罪）</li> <li>・他都市との競争に勝つ</li> <li>・「住みやすい」町とする</li> <li>・高コストではなく、住民も負担</li> <li>・介護保険料等が高い（県下1位）</li> <li>・家賃は安い</li> </ul> <p>何かに集中しないと伸びない（総花でなくメリハリが必要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業、農業の内容にも</li> </ul>	<p>町民自らが取組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民主体で（ひとり暮らし）（認知症対策）（自殺）に取組む</li> <li>・子供の登下校の見守り隊だけではんかう子供への声かけなど</li> <li>・民生委員の活動は必要</li> <li>・おんぶにだっこの行政との関係は良くない</li> <li>・県の言うとおりにやるだけでは勝てない</li> </ul> <p>・ごみ処理について分別がいいのか、良いあり方を知りたい（コスト、CO2削減のためには？）</p>	<p>広域的な連携を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の都市との連携で魅力を高める（例えば横浜の美術館まで分で行ける）</li> <li>・市町村合併で考えていくべき</li> <li>・総合計画は近隣と共同でつくるべき</li> </ul> <p>総合的に施策を考え実行する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湘南市などの名前のイメージアップ</li> <li>・「空気がきれい」など住み良い環境をPR（喘息の人が町に住んで治った）</li> <li>・新幹線新駅は町としての効果を確認していく必要</li> <li>・新幹線新駅は分科会を作って2町民の議論必要</li> <li>・学力テストの結果公表 町内の学力アップのため</li> <li>・駅前に交番必要</li> <li>・虫食い開発による行止り道路の解消必要</li> <li>・スポーツや文化活動など学校活動の活性化</li> <li>・地域の魅力を向上する</li> <li>・寒川町として住み易い環境はどうか研究すべき</li> <li>・駅に近くて便利なまちづくり（海老名のように）</li> <li>・町民税を減らした方が住民は育つ</li> <li>・年寄りが住み易い街づくりやイメージ 利便性確保必要</li> <li>・農用地の適切な見直し</li> </ul> <p>・町場の機能を分散して地域の活力アップ 町場機能をまとめた方が利用し易い（議論）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生ゴミをしぼって水を減らして出すなど町民にPR（もやしやすごみ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立中学等の誘致（かつて小～大学の誘致構想有）</li> </ul>

# まちづくりの目標像（キーワードなど）

## 【目標像】

キーワード(取組方向)	具体意見
大都市に近接する立地性をいかす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市農業 必要な農地を保全していく</li> <li>・第3セクターでアウトレット誘致</li> </ul>
寒川ブランド確立・知名度アップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒川のブランド農産物（種増やす）</li> <li>・住民の満足度向上</li> <li>・相模線の複線化や相模線延長など考えるべき</li> </ul>
資源を活かす（寒川神社、富士山の山並み、水・緑の環境）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションと戸建住宅（万戸増）</li> <li>・私立中学校（1校）誘致</li> <li>・孫や子供に負担を増やさない</li> <li>・住みたくなる町のアンケートランキングアップ</li> </ul>
行政に依らない自主的産業の育成策立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模工業用地の造成</li> <li>・中小企業団地（ネームバリューのある）をつくる</li> <li>・町内企業の育成（税収増他）</li> <li>・農業、商業、観光の自主力</li> </ul>

## 【今後の寒川町に必要と思うこと】



### まちづくりの前提

行政の(事業)執行の検証が大切(例えばポイ捨て条例はうまくいっているのか)  
取組の優先順位をつけることが大事

健全財政の維持

事業の検証必要（例えば総合体育館の運営など）

税収 80 億円を維持する

住民満足度調査をして必要なもの、事業を検証して進めるべき

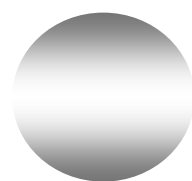
目標は数値化できるもので



### ソフト

共有・協働

目標管理



資料編

## 町民ワークショップの開催経緯

回・開催月日 (平成22年)	議 事 (検討事項)
第1回 (1月10日)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ごあいさつとオリエンテーション</li> <li>2. ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活実感からみた主要取組の評価</li> </ul> </li> <li>3. 次回に向けての調整</li> </ol>
第2回 (1月17日)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活実感からみた主要取組の評価</li> <li>・今後目指したい目標像</li> </ul> </li> <li>2. 意見発表</li> <li>3. 次回に向けて</li> </ol>
第3回 (1月21日)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後目指したい目標像</li> <li>・目標像実現のための取組提案</li> </ul> </li> <li>2. 次回に向けて</li> </ol>
第4回 (1月31日)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標像実現のための取組提案</li> </ul> </li> <li>2. 発表・意見交換 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の進行について</li> </ul> </li> </ol>
第5回 (2月14日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見提言書確認</li> <li>・町長意見交換</li> </ul>



## 町民ワークショップメンバー

### 【敬称略】

井上 隆男  
右城 栄一  
内野 晴雄  
江畠 新吉  
大川 信乃  
大久保 正司  
大久保 良雄  
大庭 照人  
小川 雅子  
押味 忠雄  
柄澤 俊器  
河村 英男  
菊地 彰良  
斉藤 正信  
佐藤 重信  
関戸 総一郎  
高橋 伸隆  
竹村 真砂美  
中澤 勝  
中島 幸雄  
羽廣 哲雄  
松田 佳克  
三上 よし子  
森川 美知子  
山上 貞人  
山蔦 紀一  
横溝 義則  
渡辺 充

